



第 1 回アクティブ・ラーニング推進リーダー研修会 演題 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくり

講師 東京学芸大学 講師 大村 龍太郎 先生
(令和元年7月26日(金) 富山市婦中ふれあい館)



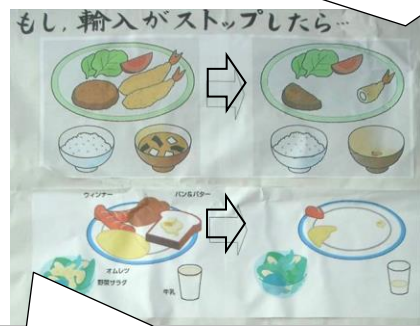
【小学校5年 社会科 これからの食料生産とわたしたち】の例 (全4時間)

主体的な学びの視点から

1 子供が問いや意見をもつことができるよう導入を工夫し、問いから学習課題を設定しましょう

2つの絵を提示し、比較することを通して食料の自給率について考えられるよう、導入を工夫する

こんなに食べられなくなるの？輸入は大切なんだな。



びっくり！日本で、もっと作った方がいい。

輸入がなくなったら、大変だ。「日本が食べ物に困らないようにする」には、どうすればよいかを考えたらよいと思います。

3年でスーパーへ見学に行ったとき、外国の野菜や果物がたくさんあって、人気があると聞きました。それに、日本だけで、そんなに多くの種類は作れないと思います。だから、ぼくは無理して自給率を上げなくてもいいと思います。「どんな食べ物をどのくらい輸入しているのか」を調べてみたいです。

「なぜ、輸入ばかりになってしまって、自給率が下がったのか」について知りたいです。

それでは、食料を確保していくために、日本はこれからどうしたらよいかについて、考えていきましょう。

2 単元の全体計画を提示し、学習の見通しをもたせましょう

2・3時間目で、二つの問題について、順に調べていきます。4時間目に、意見発表会をします。学習課題についての自分の意見を、いろいろな資料を関連付けて発表できるようにしましょう。

〈学習課題の設定〉食料を安定して確保していくために、日本はこれからどうしたらよいのだろう

1 日本はどのような食料を、どの国からどのくらい輸入しているのだろう

2 日本の食料自給率は、どうしてこんなに低くなったのだろう

(意見発表会) 食料を安定して確保していくために、日本はこれからどうしたらよいか、自分の意見を発表しよう

対話的な学びの視点から

3 児童・生徒が、「問いを解決しよう」「できるようになろう」などの目的をもって思考できるよう、多面的・多角的に考えさせる発問をするなど「手立て」を工夫しましょう



日本の食料自給率はどうしてこんなに低くなったのか、調べた事実を関連付けて説明してみましょう。

〈多面的な視点〉
「味」「安全」「価格」
「日本の経済力」
「日本・世界の耕地面積」

〈多角的な視点〉
「日本の農業や水産業で働く人」
「外国の農業や水産業で働く人」
「消費者(国民)」

私は、この「価格」と「耕地面積」の資料から、いろいろな種類の食べ物を外国から安く輸入できるので、それを買う消費者が増えたのだと思います。それで、日本の農業で働く人は、作っても売れないので、収穫量が下がり食料自給率も下がったのだと思います。

日本は、食料自給率を上げるべきなのかな？

外国から輸入されるものは、価格が安いけど、詳しい表示がなくて安全性が高いか分からないものもあります。だから、日本の食料自給率を上げる必要があると思います。

日本の農家の立場だったら、どう考えますか？ (多角的に考えさせる発問)

日本の農家の人は、価格を安くしたいけど、耕地面積を広くして大規模にしたり、後継者を見つけたりするのが難しいと思います。

そうか、いろいろな見方があるな。...

絶対解(答えが一つだけ)がない問いに対し、子供たちは自由に考え、各自の納得解を得ようと、積極的に話したり調べたりします。教師は、多面的・多角的な視点から考察させ、学び合いが深まるよう工夫します。

深い学びの視点から

4 生きて働く知識となるよう、「つなげて考える」場を設定しましょう



あなたは、食料を安定して確保していくために、日本はこれからどうしていくべきだと考えますか。いろいろな事実を基に、関連付けて考えましょう。

資料を調べたり、友達の意見を聞いたりして、「自給率を上げなくてもいい」という最初の考えとは違ってきたぞ。ぼくは、「食の安全面」や「フードマイレージ」、「飢餓に苦しむ国」の資料を見せて、食料を安定して確保するために自給率を上げる努力をするべきだと、意見発表会で説明しよう。

これまでの体験や既習事項、調べたことや友達の意見等、様々な情報を関連付けて知識を再構築することで、学びの質が高まります

「対策のヒント」・授業アイディア例を活用して、授業改善を図りましょう

問題番号	関連する問題	参考	教科書	学年	時期	関連する主な単元
1 (3) ※	H28 B 5 (1) ※ H25 A 5 (3) ③ H25 B 3 (1) H22 A 5 (2) H21 A 6 H19 B 1 (2) H19 A 5 (2)	・ H31報告書 P26~28 ・ H31授業アイディア例 P9~10 ② ・ H28報告書 P92~96 ・ H25報告書 P40~43 ・ H25報告書 P68~73 ・ H22報告書 P162~165 ・ H21報告書 P236~238 ・ H19報告書 P143~146 ・ H19報告書 P154~158 ・ 4年間のまとめ【小学校編】 P30~32	① 東京書籍	5年	12月	面積の求め方を考えよう [四角形と三角形の面積]

①調査問題に関連した教科書・学年・時期・単元を確認しましょう。

②授業アイディア例や報告書の「学習指導に当たって」を参考に、授業を組み立てましょう。

③※が付いている問題は、推進チームのHPに「設問別ワークシート」があります。単元で身に付けさせたい力が付いたかどうか、授業等で活用することができます。また、HPの一覧表には県の平均正答率が掲載されていますので、自校の状態と比較・検討することもできます。